



発行元：株式会社サポート・ワン・サービス
愛知県津島市愛宕町四丁目113〒496-0036
代表TEL：(0567) 26-3921
FAX：(0567) 26-3922
ホームページ http://www.s-o-s.co.jp

利用状況案内板 (☆募集中 ★満員)

☆ナイス・ケア

☆ナイス・デイ (定員10名/日)

日	月	火	水	木	金	土
4	5	8	4	6	5	8

☆ナイス・ホーム(登録者 17名/定員 21名)

☆愛宕の家(入居者 15名/定員 17名)

☆つしま紹介所 ☆ナイス・キッズ ☆打太鼓

～上記を参考にご利用ください～

《11月予定》

- 10日 外食デイ
- 20日 避難訓練
- 28日 お楽しみ会
- 月末 祖父江いちよう見物

不定期行事

その日の天気や意欲等で状況判断して、外出先一覧を参考に社会生活参加します

自立への手助け / ナイス・ケア

長年訪問介護を利用しているSさん。以前は日中独居となるため昼食用意だった。若くして脳梗塞を患い、歩こうにも立ちすくみ進めない事も多々あった。突然の病気で何事にも恐怖心があり、後ろ向きになってしまっていたと感じていた。

長い年月が経ち、今はとても意欲的。いろいろな事に挑戦したい、『奥さんや子供の役に立ちたい』と、以前から少しずつ自分で出来る事を増やしてみえた。そんな中、『来月は昼食を自分で用意して食べるから入浴の介助だけ来てほしい』と嬉しい変化があった。自立への道を少しずつ切り開いてみえるSさん。

Sさんが変わったように、私達ヘルパーも援助の視点を変えていかななくては…と思った。(H・O)

向き合う事 / ナイス・ホーム

ほぼホームの専任になって早4ヶ月が過ぎようとしている。自宅へ訪問する機会も増え、特に多いのはOさん宅。

一人暮らしの男性。月一度の通院以外、外出は随分減っている。その為か、以前より装いを気にしなくなったように感じる。担当者間で「今日は〇〇って伝えたらやってくれたよ」「じゃあ、今度は〇〇ってお願いしてみたら？」なんて声かけの工夫をしながら本人から自発的に装いを気にするよう関わりを続けた。ある時、月一度の通院で看護師さんがその変化に気づいてくれた。それが、ヘルパーとして、とても嬉しかった。

カンファレンスでほぼ毎回Oさんの議題。ヘルパーとしての関わり方、サービスの在り方など、いろんな事を考えた数カ月。一対一でじっくり関われる訪問サービス。閉じこもり防止のためにも、体力の衰え等に配慮しながら能力を引き出す工夫をして一人ひとり真剣に向き合っていきたいと改めて思う。

(S・H)

気持ちをぶつけて / 愛宕の家

10月のある日、Aさんが三日前から怒っている。もちろん私に対して…。でも、どうして怒っているのか、さっぱり心当たりがなく、いくら考えても私の中では、いきなり怒り始めたという感じ。Aさんは「もう、あんたなんかの顔もみたくない！」等いろいろ言っている。認知症や妄想もあるので、何か私の言動が引っ掛かったのだろう、そのうち戻るかな～と呑気に考えていた。…が、もう三日。さすがに困った。ある時、いつものように「あんたとは話したくない！」と言われ、思わず「Aさんは話したくなくても、私は話したいのっ！」と言ったら、怒りの形相が少しだけ崩れた。そして、「そんなうまいこと言っても～。」と嬉しそうな顔をした。そこからは、「なぜ怒っているの」と聞きだした。結果、私がAさんに親身になっていない、忙しそうにパタパタ走り回って、Aさんに挨拶もしない(してるけど…)等々。

耳が痛かった。Aさん…よく見てるなあ。というか他の方もそう思っているのだろうか？そんなつもりはないのに…。Aさんに謝ったら「いいのよ～分かってくれば。」という風に仲直りしたのだが、次の日、又怒っていた(笑)。「あんたは好かん！」………今度は何？(K・T)



ただいま～ / ナイス・キッズ

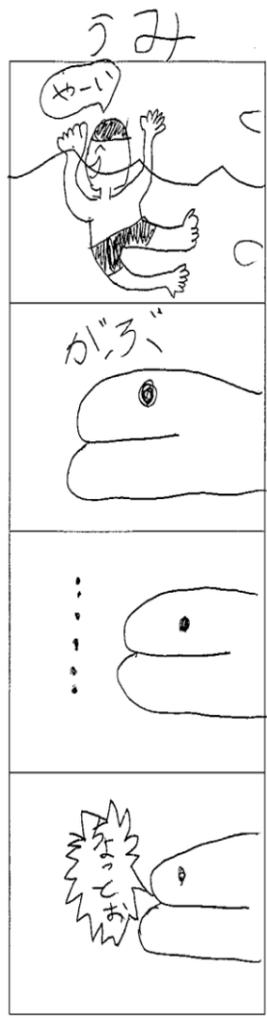
「お帰り～」と声を掛ける私に、「……。」「何で『ただいま』って言わんのだあ？？」聞くと、『昨日、宿題終了の確認サインを頼んだのに書いてくれてなかった！ちゃんとやったのに宿題忘れだっって先生に言われた。』それで……。大人も忘れるの。素直に「ごめんなさい……。」

別の日、キッズが「ただいま～」と乗込む車の中。声の掛け合いはOK！でも、何となく変……。話を聞くと、昨日ケンカしたらしい……。

「ただいま」の一言でその日その子がどう過ごしたか、どんな想いを抱いているのか察知できる。「ただいま～」の瞬間を大事にしている今日この頃である。(R・W)



小学2～4年生KIDが4コマ漫画を描き、その中で選りすぐりの一枚を大人が選び、掲載します



記憶に残らずとも / ナイス・デイ

待ちに待った遠足なのに…。今にも泣き出しそうな空をうらめしく見上げる。利用者さんもスタッフも「行けるかな…」と不安気。何とか雨は大丈夫かなと言う事でいざ出発!!

30分ほど車に揺られ、到着したのはコスモス祭り真っ最中の“木曾三川公園”

雨が降り出したので、屋根があるところで早速、手作り弁当を広げた。一面のコスモス畑を目の前に食べる食事。より一層おいしい。お弁当が食べ終わる頃に雨もやみ、コスモス畑を一周する。そして記念写真。「笑って～」とスタッフ。

帰り道、「今日は楽しかったね～」と

何気なく利用者さんに話しかけると「どっか行ったか!!」と…。まあいいか、あの笑顔を見られたから……。その時楽しいと思っていたことは私が覚えていませんとも。そんな風に思える一日でした。(H・A)



慢性疼痛について / 理学療法士

骨折後、時間が経っても痛みが続き、日常生活に支障をきたすことは多い。慢性疼痛は発生のしくみもよくわかっておらず、確立された治療法も存在しない。少しでも痛みを改善させるような方法はないか調べてみた。

- ① 擦法→痛みを訴える部位の皮膚上を直接軽快にさする。この時痛みを誘発させてはならない。
- ② TENS(経皮的電気刺激)
- ③ 全身運動→身体活動の増加による心理的な改善を主目的に行う。

慢性疼痛は心理的因子がかなり大きいので、本人の話を傾聴することはもちろん大切な事だが、痛みの訴えを軽くみず、他に重篤な疼痛因子が隠れていないかのチェックも忘れられないようにしたい。(U・I)

介護と看護 / 看護師

疼痛コントロールのためHさんの鎮痛剤を頓服から定期内服に変更。主治医と薬剤師にもその旨を紙面に報告。更に薬剤師さんが施設に来た時に口頭で説明。そして日々関わるスタッフに定期内服することを伝えた。ある日、スタッフが鎮痛剤を定期内服薬に追加しているところを目撃。「だめだよ、定期内服になっているからセットしなくていいよ」と言うと、「え？セットされていないよ」と返答。確認してみると、主治医からの定期処方薬には鎮痛剤は処方されていない。薬剤師に依頼している薬のセットにも鎮痛剤はセットされていなかった。私は焦った。スタッフに確認すると「セットされていないと思って、頓服用の鎮痛剤を自分たちで定期内服薬に付け加えていた」という。Hさんに苦痛を与えていなかったことが分かり、とりあえずホッとした。と同時に、多種職との連携の難しさを痛感した。こんな簡単なことも正確に伝わっていないし、伝えられなかった。受け取ってもらえるだけの説明能力に欠けていた。(来月につづく)(M・T)

編集後記

朝晩冷えてきました。空気も乾燥してきました。気温が下がって、乾燥してきたといえば怖いのがインフルエンザです。もうそろそろ医療機関や広報などでお知らせがきています。利用者さんへも予防接種をお願いしています。介護者の方もぜひ接種を検討してみてください。(Y・O)